



十周年記念大会開催

本会もこの十一月で発会以来満十年を迎えかねてより計画していた創立十周年記念の催しを左記により行なうことになりました。

記

日時 昭和四十二年十一月二十六日(日)

午後一時～五時

場所 戦傷病者会館ホール

第一部 プログラム

第一節

会長挨拶

十年の歩み報告

感謝状贈呈

来賓祝辞

会員の体験発表

休憩

第 62 号

42・10・30

発行所

世田谷区泉徳寺一ノ八ノ一
伊藤先生方業団体
社団法人青い芝の会
日本脳性マヒ者協会

青い芝の会

編集者

廣 報 部

責任者

廣 報 部

印刷者

廣 報 部

印刷部

廣 報 部

教養部ゼミナー

十周年記念の一つとしてゼミナーを教養部で開催致します。
目的は、十年間の歩み、会の在り方と会の進展のための討論会を行います。会員の皆様方ご多忙とは思いますが、おひとりでも多くご参加下さい。
心からお待ち致しております。

記

日時 十一月一八・一九日の二日間(一泊)

場所 八王子市高尾町二四三八

高尾ユースホテル

宿泊料(食事共)七百円

交通費 京王線で三六〇円

集合 十八日午前十時

新宿西口(京王線改札口)

(十八日の昼食持参)

持参品 洗面用具、ネマキ

日常の必需品

尚、一日だけの参加も大歓迎を致します。

十九日だけ参加の方は午前十時までにユースホテルに集合して下さい。

高尾ユースホテルは京王線の高尾駅から徒歩三分位の所にあります。

費用 実費として百五十円

申し込み切、十一月十一日まで

事務局へ

第二部
会員の琴演奏
講演 曾野綾子
本会の未来像発表
以上

この記念すべき催しのため、数多くの方のご来場をお待ちします。

◎ なお、遠方の会員でお出になりたい方は事務局で宿泊の便宜をはかりますから早めにご一報下さい。

◎ 会場への道順は五頁をご覧ください。

祝 青い芝の会
創立十周年
三誠社

役員会報告

10月8日 定例役員会

出席者 山北、石橋、山口、金沢、高垣
高山、小山、中村

欠席者 磯部、小仲井、鈴木

議題 ①十周年記念行事の件 ②歳末チャリ
テイの件 ③教養部ゼミナーの件
④一、記念式典会場について報告(金沢)
敬傷病者会館ホールを十一月二十六日に借り
ることにしました。そこは全然階段がなく、
座席もゆったりしている。ホールの大きさは
座席数二百五十。

内容について
一部と二部に分け、一部はいわゆる式典で挨拶
やこれまで会でお世話になった方々に感謝
状、記念品の贈呈等。二部は「脳性マヒのPR」
を主とした講演会とする。

二、記念冊子発行について(広報部より)
記念冊子の原稿を「社会の中の私」「家の中
での私」「施設の中の私」という題で会
員から募集したか思ったほど集りなかった。
そして、こちらの考えでは生活記録、体験記
を求めたのだが、意見や理屈などを書いた論
文調のものかなりあった。それに役員が殆
んど書いていないのはどういふわけか。
高垣「生活記録を書けと言うが、脳性マヒだ

からということを一々意識しながら生活して
いるのは少ないのではないか。」
石橋「そこをもう一度あらためて意識して書
いてもらいたいのだ。具体的なそういう記録
の方が抽象的な意見等より脳性マヒ者とい
うものを一般にお知らせ、訴える力が大きい
だから。」

そのようなわけで構想を練りなおし、生活
記録の他に、脳性マヒ者の治療の各分野で活
躍されている先生方に脳性マヒの治療につ
いて書いていただくことにした。
② 歳末チャリテイシヨウについて(事務局
より)

今年度予算に計上された事業益金を得るため
には、六百枚以上切符を売らなければならな
いのであって、これは事務局だけでは到底や
れるものではないから、出来る限り皆で協力
してもらいたい。

支部で取り扱った分に対しては売上の七分
をその支部へ配分することにす。
③ 高山「いろいろの事情で延び延びになっ
ている教養部の勉強会(討論集会)を十一月
にやりたい。内容は会員の持っている会に対
する要求について行ないたいと思っているが
……………」

これについて「要求ばかりして義務を忘れ
ている会員が多いから、会員の義務について
もやったら」「十周年を機会に団体の意義と
いうことでやったら」等の意見が出された。
以上(文責・山北)

事務局便り

石橋 玲 二

○事務局は現在、ここ何年にもない程多忙
な毎日である。十周年大会の準備、教養ゼミ
ナーの開会、十周年記念号の編集、大組、通
常会報の封筒書、そして更に歳末チャリテイ
の切符販売と、まさに目のまわるような状態
と云えよう。現にこの原稿を書いている今も
電話のベルの鳴りづめである。切符の山を積
目に気が気でないのだが、そうかといつて日
常事務もおろそかには出来ないで、泣く泣
も泣けなくあります。(あゝあゝそろそろ蒸
発したくなりました)

○毎年の年中行事になった歳末チャリテイ
も年々参加団体がふえ、本年度は二十八団体
という多数になった。その中で自分自身とい
うのは当青い芝只一つ、それだけに入一倍の
努力をしなければならぬのだが、他の強力
な団体の中で、青い芝は生存競争のきびし
さをまざまざと感じる。これも一口に云えば福
祉政策の貧困というところになるのだが、われ
われ自身の足でこの競争に生き残らねばなら
ないのだ。(この方の重みがつくづく感じら
れるこの頃ですね)

○今日は快晴、事務所のある養徳寺の駅か
ら前面に他の山々を見たがえた富士山がくっ
きり浮いていた。白衣をまとわぬ富士はな
にか厳しいものを見た。それはわれわれに
目標の高さと、崇さとをおしえてくれるよう
に思えた。
(東京で山の見える日は冷えこみます。風
邪に御注意)

最近の更生相談日記から

8月6日 晴 高垣新一

毎日カンカン照の暑さが続いている。今日友人のA君の所より電話が有り「大変な事が起きた、すぐ来てくれ」との事、汽車ですぐA君の所へ行った。思いがけなくB施設に入所して居る苦のC君が来て居りどうしたのかと聞くと「結婚約束」を相手の男がT市のDと同居して居る、私はだまされた。Dを殺して私も死ぬ」と言っていて昨日からA君の所に来て騒いでいると言っている。いやはやインド人もびっくり「Dは少し前Dと正式に離婚したばかり、それがD君の相手だった」と一語に居るとは、人間のしかも大人のする事かとにかく、Dに「DもDも殺してもいいが物事がそれで解決する」と考えるのか」「まして自分が死ぬなんて馬鹿馬鹿しくて話にならない、D君と二人がかりでせつとくやっとな家にかえると言っているので駅迄行くとDは一銭も持っていない。仕方ない四二〇円小生のたてかえ、いやはや。

8月11日 晴

朝六時十五分で上京り君とS君をつれてD職安に行く職の事で相談で有る、職安から二人あったY病院に（千葉）に行き取をたのんだ、CPでしかも中高年者では先づ就職はむずかしい、D君の方は奥さんと二人こみなら就職口も有ったが事情が色々有り、それも行かない。

い。S君の方は全く絶望的である。何とかしなければと思う。久留米園に泊る。園長に色々話を。やはり或る程度以上の重度なCPには普通の就職は無理で何か自主的な仕事でしかも喰える事を考えるのが一番だと思ふ。

8月13日 晴

昨日焼きたら埼玉県のD町からM君が来ていた。結婚相手を見つけてくれと言うので色々話した。M君は17年生の工具で同様に早く亡くなり兄に育てられたとの事、今の仕事で月給は二万三千元（手取）で有るが今は会社の寮で自宅はないらしい。DとM君の相手は二十一、二才の女性でしかも、M君は供働きを望んで居るので中々むずかしいと思われる。よく小生達も耳にする事であるが会員諸君の中にもこのM君と同じ様に供かせぎを望むと言う人が多様な様であるが本当に結婚するのならばこの様な望みは望まない方が良く小生は思っている。結婚する以上細君の一人や二人（キツとも二人も喰はしたら問題だが）喰わせられないのなら結婚などする資格はないと考えている。そんな事を考えて居る者は男の風上にもおけない。細君に働いてもらわなければ世帯を持って行けないのなら世帯を持たなければよいし始めからそれを当に居る様な者は持つ資格はないと思っている。M君にも大体こんな事を話しておいたが結果はどうであるかわからないので埼玉県にDとM君の状況も解らないので埼玉県に

『わが半生記』

木村 浩子 著 定価 二〇〇円

著者木村浩子さんは本会の会員でもあり、かううして使える右足一本で俳画をかき、今や世界身体障害者芸術家協会会員となり、その存在は世界でも認められるようになりました。この『わが半生記』は木村さんのなにごとも負けたかった勇気の記録といえまじょうこの本は『青い芝』の会事務局で取次いでいますのでぜひ御一読下さい。

生きるために手のかなわねば足使うは当然なるにめずらしという
 寄るべなき心のつづくこの日ごろ
 死後の世界を描きつけ恋う
 かすれつつも毛筆かす清きよし
 梅に花など描けり夜更け

(わが半生記より)

創立十周年を迎えて

高橋和雄

この記念すべき年に当って、青い芝の会の発展させなければならぬと思う。なぜもたついているのだろうか。ほとんどの身障者の親、兄弟は、一般の善意ある人々に対して援助を願っているのではないだろうか。この点に身障者の会が発展しない原因の一つがあると思ふ。

私達脳性マヒ者に悩みがないとは思えないかならずあるはずで、それをなぜ言葉にしないうのだから。私達の考えを社会の人々に理解してもらわなければならないと思うのです。どうせ言っても誰も助けてくれないだろうと考えているのではないのか。そこに誤りがある。助けてもらうのではない。私達自身が立ちあがって問題を解決して行くこととしない限り、他の誰が関心を向けて協力してくれようか？

お互に助け合い、励まし合って一生懸命働いて、それでもどうしても出来ない事は補ってもらえばよい。その時、助けるのではなく私達と共に働いてくれているという事を忘れてはならない。要は、援助してもらおうと考えている間はとも会の発展は望めないと思ふ。

速やかに「自分自身のこととは自分自身が立ちあがって、主張し、自身の協力で解決して

社会人として

柳下明之

民法では20才に達すれば、正成人として認められている。社会生活の一員となれば、義務と権利が発生する。当然なことがなかなか実行されていないような気がしたので、まず自分はどうか、疑問になってきます。

CPは言動が遅いのが特徴である。しかし遅いのをいいことに中途では許されないので当然である。それゆえに慎重な態度が一層要求される。軽率な行動は人に信用されないから当人にとっては損である。一回損をしたら元に戻すまでには大変なことは皆さん十分承知していることだと思います。

社会育成上人間に必要な一員で、それが大きな要素である。人であれば感情を示す唯一のもの、人は人には自分の命令をするのに、他人の命令には従わないのが、当り前のようになってはいるが、これではいけない、自分の感情を押さえてしまうことも社会人としては必要なのである。しかし筋の通らないことは大嫌いである。僕には長所もあれば、短所もある気の長いことにかけてはまあいい方かもしれ

ない、相手の側の立場になってものごとを考えるような慎重さである、もちろん積極的な面もあると思ふ。

社会通念上誰が考えても、筋の通らないことをやられると、八倍腹が立つ、そうなら最後はちよちよとでは元に戻らない位、自分の信念はまげないから……だからと言って人には迷惑を掛けるような事は注意する。人にやられて、自分かやだと思ふことは、誰にもやらないことにしている。

またいくら言論が自由だから何を言ってもいいというものではない。自由があれば責任というものがつきまとうのだと思ふ。地位のある人の失言が多くては困る。

互助の精神は大いに養うことが必要である。自分だけで生きている訳ではない。比較するものがないければ、進歩も発展もないから、お互いに補って始めて、一つのものになると思ふ。

人がやってくれた行為に対しては、感謝しなければ、次からは誰も助けてはくれない。過保護になつては、本人のためによくない歩いて目で見ても確かめて経験するのが、社会人として成長するのではないだろうか。

以上の点で、僕自身はまだ未熟ではあるがなにかの参考になればと思つて書きました。



社会性について

成田澄江

「CP者にはそれが欠けている」といわれる。しかし、言われる当人にどこが欠けているのか、判らないのだからどうしようもない。尤も、欠けていると判ったのでは欠けているとは言はずにすむことなのだが、所々CP者自から好き好んで欠けているのではなく、その親が欠けているのではあるまいか？

何もCP者のみが生れた時から大人のままでいた訳じゃない。ちゃんと大人になる迄にとうる時期を遂げた筈だ。それと社会性という目にも見えない何か、大人になってからその人間性を形成するといふのもない。そうしてその責任を本人がとらなくてはならないとしても欠けていると気がつく方も少なく共に大人なのだからせめて気がついた点だけでも欠けていると思ふ者のその点を補なつてあげることもやはり社会性を身につけた人がとらなくてはならないことなのであるまいか？

渋い顔をしてカゲで言い放しという無責任なことは誰にでも出来る。

さて家族の問題だが、第一に親がその子供（CP児）に対して育てあげる自覚を正しい位置からそなえて欲しい。不自由児だからといって他の子供と余りにもかけはなれた育て方をされたのではなかったものではない、か

ゆい所に手が届くような育て方が、かゆくなく所迄もかゆくと言わせなくてはならないこともなるからだ。

自己中心的な生かされ方をされ社会に出されたにしても、その場からくる違和感が常識外れの行動となりそれが社会性のない人間にしてみようのだから、その育てられ方がいかにも重視されなくてはならないのか、字をつらねるよりもあきらかなことである。

不自由児が泣けばしかる代りに菓子を与えろノことをされつくされたのでは、本当にその子がかわいいのか？とききたくもなる。

一人天下を作らし、弧立させてしまうな、かかる非常識な人間が出来上がることを本人はどう防げばいいだろうか。

それにもかかわらず、その責任は本人がおわされてしまう。

身障者・精神障害者児のための都民集会のお知らせ

去る9月25日、千代田公会堂で開かれた美濃部都知事との対話集会には、青い芝からも多くの人が参加して発言しました。

けれども脳性マヒ者の生活と権利を確立するためのものとしては十分な対話ができただけとは言えません。

この度、都民集会を開く実行委員会が障害者の生活と権利を守るために、美濃部都知事をお呼んでの都民集会を開くことになりました。会員のみなさん、この集会に一人でも多く参加して、脳性マヒ者の幸福を守るための出発点にしましょう。

日時、場所はまだまだはっきりしていませんので事務局に連絡下さればわかるようにさせていただきます。（社会活動部）

内場 飯田橋
 大日本印刷
 戦傷病者会館
 市ヶ谷駅
 四ツ谷駅
 牛込柳町
 東二
 若松町
 豊島園「練馬車庫」行
 新宿駅西口から都バス「新井薬師」行
 東京駅丸の内北口から都バス「新井薬師」行
 薬王寺町下車 徒歩三分
 市ヶ谷駅から徒歩一五分
 地下鉄四ツ谷三丁目から徒歩一五分
 戦傷病者会館
 東京都新宿区市谷本村町四二番地
 電話 二六九一八一五一

才三回

歳末チャリテイ・ショウ

前号会報でお知らせした、チャリテイ・ショウ、事務局に切符が来たらからまもなく半月たちます。初日までに四十日をきってしまいましたがまだ十弱しかさばけてはいません。けしてこれは事務局だけの事業ではないのですから、会員諸氏の出来るだけの御協力をくつかえしお願いします。

プログラム

ピクチャーミニージャックフェスティバル
 日時 十二月三日(日) 開場一時
 会場 東京厚生年金会館大ホール
 出演者(順不同・予定)
 第一部 中尾ミエ 田辺靖雄 いしだあゆみ 田代美代子 横みちる その他
 第二部 ザ・カーナビーツ マイク真木とサマイクス・ザ・サベージ その他
 ビクターゴールデンヒットパレード
 日時 十二月三日(日) 開場六時半
 会場 東京厚生年金会館大ホール
 出演者(順不同・予定)
 第一部 橋幸夫 マヒロエコーズ
 第二部 大津美子 三沢あけみ 佐良直美 永井秀和 久保浩
 お笑いスターパレード
 日時 十二月九日(土) 開場一時半
 会場 東京厚生年金会館大ホール

出演者(順不同・予定)

越路吹雪 内藤法美ジヨイント
 日時 十二月十六日(土) 開場一時半
 会場 東京厚生年金会館大ホール
 出演者 越路吹雪
 就売日響愛のコンサート
 二大シンフォニーの夕べ
 日時 十二月二十五日(月) 開場六時半
 会場 日比谷公会堂
 曲目 ベルリオーズ 「ローマの謝肉祭」
 ジューベルト 「未完成」
 ドゾオルザーク 「新世界より」
 入場料(金・各種、同じ料金です)
 S席 千五百円 A席 千円
 B席 五百円

編集後記
 十周年記念冊子のため募集した原稿には、自分自身のいづわりない体験を書いてもらいたかったのだが、意見や批評を書いて来たものが大分あった。それで、その意見や批評は会報の方へまわらせてもらった。

みんな

将棋をおぼえよう(二)

前回は桂まで説明しました駒の動かし方。今回は銀からです。

上図のように動くことが出来ます。銀は攻めの駒といわれ先頭をきって進むきり込み隊長です。

金は上図のように動きます。横に動くことが出来るので、主に王様の週辺を守る親衛隊の隊長です。

角はななめにとどこまででも好きなだけ進めます。

飛はたて横に好きなだけ進めます。飛は角も共に攻撃もつとも重要な駒であり、シエツトばかりは機といつたところ

守ってやらなければなりません。

王と金を除きあとの駒は相手の三段目に入るとうらになり歩香桂銀は金と同じ動きになります。角と飛は元の動きに王と同じ動きが出来るようになります。

以下次号